

令和3年度 第1回 久留米市国民健康保険運営協議会議事録

1 日 時 令和3年8月30日～9月17日

2 委 員

区 分	氏 名
公益代表	田中 功一
	南島 成司
	吉武 憲治
	大熊 博文
被保険者代表	馬場 淳子
	甲斐 サエ子
	田中 孝子
	永松 千枝
保険医又は保険薬剤師代表	田中 二三郎
	首藤 俊介
	本村 精二
	杉本 奈緒美
被用者保険等保険者代表	大淵 工
	権藤 裕子

3 協議事項

(1) 会長・副会長の選出

会長に田中功一委員、副会長に南島成司委員を選出

4 報告事項

<p>質疑要旨</p> <p>(1) 令和3年度久留米市国民健康保険運営協議会での協議事項について</p> <p>質疑なし</p>			
<p>(2) 久留米市国民健康保険事業の状況</p>			
		質問・意見等	回答
委員	<p>久留米市の一人当たりの医療費は県内の自治体の中で31位であるが、保険料は県内11位と高くなっている。その要因は何か教えてほしい。</p> <p>また、久留米市の総医療費の県内自治体における順位と金額を教えてください。</p>	事務局	<p>保険料は、平成30年度の国保広域化以降、県納付金に必要な財源をもとに算定することとなりました。各自治体の県納付金は加入者の医療水準のみならず、所得水準、年齢構成などにより決定されるもので、そうした中、令和2年度における本市の一人当たりの県納付金は県内で12位であるなど高い水準となっております。</p> <p>こうしたことを要因として、保険料においても、本市は県内で高い水準にあると分析しております。</p> <p>また、久留米市における令和2年度総医療費は、26,177,105千円（県内60自治体中3位）となっております。</p>
委員	<p>保険料収納率について、不能欠損の金額と割合がどのようになっているのか教えてください。</p>	事務局	<p>不納欠損額は、収納率の向上に合わせて毎年減少し、令和2年度は5年前の平成28年度（268,547千円）と比べ、5割強減の122,397千円となっております。</p> <p>また、保険料調定額に対する不能欠損額の割合は、平成28年度の3.8%に対して、令和2年度は1.7%に減少・改善しているところです。</p>
<p>(3) 令和2年度久留米市国民健康保険事業特別会計決算（見込）</p> <p>質疑なし</p>			
<p>(4) 令和3年度久留米市国民健康保険事業特別会計予算</p>			
		質問・意見等	回答
委員	<p>口座振替加入キャンペーンで新規申し込みをされた方に進呈するクオカードの金額を教えてください。</p>	事務局	<p>口座振替加入キャンペーンで進呈するクオカードは500円分になります。</p> <p>なお、9月末時点の口座振替加入者数は2,051名です。令和2年度の口座振替加入者数は1,990名ですので、ここ半年の加入者数は、キャンペーンの効果により、1年間の加入者数を上回っております。</p>

質問・意見等		回答	
委員	特定健診早よ受得キャンペーンでは、何月までを早よ受け得月と考えているのか。また、何セットを予定しているのか。	事務局	<p>特定健診早よ受得キャンペーンは、久留米市国民健康保険特定健康診査を受診された方に抽選で景品が当たるキャンペーンです。景品の抽選は、8月から毎月実施し、はずれた場合でも翌月の抽選に持ち越され、何度も当選の機会がありますので、早く受けるほど抽選の回数が増えて当選確率が高くなります。</p> <p>8月から1月まではA賞（「地場産品詰め合わせ」または「旬のお野菜等詰め合わせ」と1,000円分クオカード）が毎月8名、B賞（1,000円分クオカード）が毎月20名に当たります。2月から5月まではB賞（1,000円分クオカード）が毎月8名に当たります。</p>

(5) 久留米市健康保険事業特別会計の財政状況について

質問・意見等		回答	
委員	医療費が増加傾向にあるとのことから、またコロナによる所得の減少等が重なると保険料の据え置きはどうかと思われる。対策は考えているのか教えてほしい。	事務局	<p>医療費の増加に伴う納付金の上昇や経済状況の悪化による保険料調定額への影響が想定されることから、今後における保険料改定の検討は必要であると認識しています。しかしながら、国保加入者への新型コロナウイルス感染症の影響が大きい現状では、慎重に対応していく必要があると考えています。このため、今後においては、まずは、収納率向上を柱とした歳入の確保や医療費適正化対策、保健事業の更なる推進に取り組み、併せて、基金や繰越金などの余剰金を有効に活用することで国保財政の健全化に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>さらには、国や県に対して、必要な財政支援を行うよう、引き続き要望してまいりたいと考えております。</p>

質問・意見等		回答	
委員	新型コロナウイルス感染症がいつ終息するか分からないので、財政状況が悪化してくるのは理解出来るが、その対応策があるのか、又赤字対策をどうするのか具体策が必要と思う。	事務局	<p>国保事業の安定的な運営のためには、財政の健全化が不可欠であり、そのためには歳入の確保及び歳出の抑制が必要です。</p> <p>そのため、収納率向上による保険料収入の安定的確保、医療費適正化や保健事業の効果的实施による医療費の抑制など、今後においても、これらの対策を重点的に推進したいと考えております。</p>
質問・意見等		回答	
委員	<p>令和3年度に赤字が見込まれている中、またコロナ禍で収入減の被保険者からの納付率も今以上に下がってくる可能性も高いと思うが、市としての対策はあるか。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険料に関しては努力していただき、かなり上向きになっていたと思うが、加入者減に加えコロナ禍で収入がままならない個人事業者様も多いと思う。 ・ジェネリックの使用率も医療機関の努力で上ってきており、これ以上の上昇を望むのはハードルが高いと思われる。 	事務局	<p>歳入確保を図る上で、保険料収納額の確保は重要であることから、納付催告などの初期未納対策や差押などの滞納整理業務の適時適切な実施に取り組み、収納率は増加傾向となっております。一方で、コロナ禍により、納付困難となられた方に対しては、国財源を活用した保険料の減免や分割納付などの納付猶予を適用するなどして対応しております。今後においても、これらの取り組みを継続的に実施し、さらに納付しやすい環境の構築を進めていながら、収納率の維持・向上に繋げていきたいと考えております。</p> <p>また、ジェネリック医薬品の普及については、歳出抑制策として有効な手段であることから、引き続き医療機関との連携を密に図るとともに、自己負担額の削減効果の高い被保険者に対して発送するジェネリック医薬品の使用勧奨通知の発送数拡大など、対策の強化に向けた検討を進めていきたいと考えております。</p>
<p>(6) 今後の久留米市国民健康保険運営協議会について(スケジュール)</p> <p>質疑なし</p>			